

大学の研究者情報・研究業績を AI エージェントから活用可能に

研究者情報データベース「DB-Spiral」が MCP (Model Context Protocol) に対応し提供開始

— Claude 等の MCP 対応 AI クライアントから自然言語で大学データにアクセス —

株式会社 SRA 東北（本社：宮城県仙台市、代表取締役社長：市田尚宏）は、全国 60 以上の大学・研究機関に導入されている研究者情報データベース「DB-Spiral」について、生成 AI エージェントから自然言語でデータを活用できる「DB-Spiral MCP サーバーβ」を、2026 年 10 月 02 日より提供開始します。

本対応により、Claude をはじめとする MCP (Model Context Protocol) 対応の AI クライアントから、大学が保有する研究者情報・研究業績等のデータへ、安全かつシームレスにアクセスできるようになります。

（動作実証済みのクライアントは Claude。対応範囲は順次拡大予定です。）研究者検索や IR (Institutional Research) 分析、各種レポート作成といった大学業務を、AI エージェントとの対話で効率化します。

■ 背景 — 大学の AI 活用ニーズの高まりと、標準規格 MCP の普及

生成 AI の実務活用が急速に進むなか、AI を「賢い対話相手」から「実際に業務を遂行するエージェント」へと進化させる動きが加速しています。その中核を担うのが、AI アプリケーションと外部システム・データソースを安全に接続するオープンな標準規格「MCP (Model Context Protocol)」です。国内でも行政機関や SaaS 各社が MCP サーバーの提供を相次いで開始しており、AI エージェントが自社の業務データを直接扱える環境の整備が本格化しています。

大学においても、研究者情報や研究業績を横断的に活用したいニーズは高い一方、これらのデータは専用システムに閉じており、AI エージェントから直接扱うことが困難でした。SRA 東北は、60 大学以上での実運用実績を持つ「DB-Spiral」を MCP に対応させることで、大学が既存資産を活かしながら AI 活用へ踏み出せる環境を提供します。

■ 「DB-Spiral MCP サーバー」でできること

- ・ **自然言語での研究者・業績検索**：「〇〇分野で△△に関する論文実績のある研究者を挙げて」といった問い合わせに、DB-Spiral のデータをもとに AI が回答
- ・ **IR 分析・レポート作成の補助**：研究者・業績データの集計や比較を対話で実行し、報告資料の下書きを生成
- ・ **名寄せ・データ照合の支援**：表記ゆれのある研究者情報の同定を補助
- ・ **既存システムを変更せず利用可能**：利用者側の環境に手を加えることなく、MCP 対応クライアントから接続

■ 特長

1. 60 大学以上の実運用実績を持つデータベースを、そのまま AI 対応

新規にデータ基盤を構築するのではなく、既に多くの大学で稼働している「DB-Spiral」を MCP 対応させることで、確かな実績のうえに AI 活用を実現します。

2. セキュアな設計とデータ保護

SRA 東北は ISO/IEC 27001:2022 およびプライバシーマークを取得しており、大学の機微なデータを扱うにあたって求められるセキュリティ・データ保護の要件に配慮した設計を行っています。

3. さくらインターネットのクラウド基盤上に構築 — ソリューションパートナーとして提供

本 MCP サーバーは、当社がソリューションパートナー契約を締結しているさくらインターネット株式会社のクラウドサービス上に構築しています。国内事業者が運用するクラウド基盤を採用し、大学が求めるデータの取り扱いに配慮した環境を提供します。



■ 今後の展開

SRA 東北は、「DB-Spiral MCP サーバー」を起点に、大学の業務における AI エージェント活用を推進します。今後はウェビナー開催／導入大学の事例公開等を予定しており、大学の DX と AI ネイティブな業務環境の実現を支援してまいります。

導入をご検討の大学・研究機関の皆さまを対象に、オンライン説明会／個別デモを実施予定です。既に「DB-Spiral」をご利用の大学におかれましては、現在のご契約のまま MCP 対応をご利用いただけるかを含め、個別にご説明いたします。詳細は下記「製品・導入のご相談」窓口までご連絡ください。

■ 「DB-Spiral」について

「DB-Spiral」は、大学・研究機関向けの研究者情報データベースです。2005 年の販売開始以来、研究者の基本情報・研究業績・所属等を一元管理し、研究者検索や IR 分析、対外的な研究情報の公開などに活用され、全国の大学へ導入実績を拡大しています。

■ 株式会社 SRA 東北について

株式会社 SRA 東北は、宮城県仙台市に本社を置く、株式会社 SRA の 100% 出資子会社として 1986 年に設立された IT ソリューション企業です。「IT の“価値”を社会に伝える」をミッションに掲げ、オープンソースを中心とした受託システム開発、ネットワーク構築・運用、自社パッケージ（研究者情報データベース「DB-Spiral」、選挙速報システム、認証系製品等）の開発・販売を手がけています。近年は生成 AI 分野に注力し、AI ネイティブなサービス開発を推進しています。

- ・ 会社名：株式会社 SRA 東北（株式会社 SRA 100% 出資子会社）
- ・ 本社所在地：〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町 3 丁目 1 番 2 号
アーバンネット定禅寺ビル 5 階
- ・ 設立：1986 年（昭和 61 年）12 月 16 日
- ・ 代表者：代表取締役社長 市田尚宏
- ・ 資本金：5,500 万円
- ・ 事業内容：受託システム開発、常駐型サービス、ネットワーク構築・運用、自社パッケージ製品（DB-Spiral、選挙速報システム、認証系製品等）の開発・販売、生成 AI 関連サービス
- ・ URL：<https://www.sra-tohoku.co.jp/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

<製品・導入のご相談（大学・研究機関の皆さま）>

株式会社 SRA 東北 ソリューション部

TEL：022-221-9061 FAX：022-268-7409 E-mail：alpha-dev@sra-tohoku.co.jp

<報道関係者からのお問い合わせ>

株式会社 SRA 東北 営業戦略部 阿部 陽平

TEL：022-221-9061 FAX：022-268-7409 E-mail：uv-ev@sra-tohoku.co.jp

Model Context Protocol (MCP) は *Anthropic* が提唱するオープンな標準規格です。*Claude* は *Anthropic* の商標または登録商標です。さくらインターネットおよび同社のサービス名・ロゴは、さくらインターネット株式会社の商標または登録商標です。その他、記載の製品名・サービス名は各社の商標または登録商標です。